

アニメジブリア展

第1弾プレスリリース資料

2022年4月8日(金)～7月10日(日)

福岡アジア美術館

主催: FBS福岡放送、西日本新聞社、西日本新聞イベントサービス

企画制作: ニュートラルコーポレーション

企画協力: スタジオジブリ・三鷹の森ジブリ美術館

協力: 徳間書店、マクセル、特定非営利活動法人アニメ特撮アーカイブ機構、
福岡アジア美術館



一冊の雑誌からジブリは始まった

FBS福岡放送と西日本新聞社は、『「アニメージュとジブリ展」一冊の雑誌からジブリは始まった』を4月8日(金)～7月10日(日)まで、福岡アジア美術館にて開催します。

本展では雑誌「アニメージュ」の誌面や貴重な制作資料を通じて、スタジオジブリの「原点」を明らかにしていきます。

1974年に「宇宙戦艦ヤマト」が放送されて以降、アニメブームが盛り上がる中で「アニメージュ」は、ファンと作り手の架け橋となる日本初の商業アニメ専門誌として生まれました。本展覧会では、現在はスタジオジブリのプロデューサーとして活躍する鈴木敏夫が編集者時代に手掛けた、1978年の創刊当時から80年代までの「アニメージュ」に焦点を当てます。

まだアニメという言葉さえ広がっていない時代から、1979年に登場した「機動戦士ガンダム」の大ヒットによりアニメは大きく飛躍するブーム期を迎えます。そして、「アニメージュ」は後のジブリにつながる高畑勲・宮崎駿両監督を見出し、「風の谷のナウシカ」(1984)を世に送り出します。さらに「ナウシカ」の成功を受けてスタジオジブリが設立され「天空の城ラピュタ」(1986)誕生へと繋がっていく、本展ではこういった道のりを振り返って行きます。

初展示となる「風の谷のナウシカ」の名場面のセル画や押井守監督作品「天使のたまご」の貴重な資料、初期ガンプラによる「機動戦士ガンダム」の名シーンを立体で表現したジオラマなど200点以上を展示します。

さらに、映画「シン・ゴジラ」のキャラクターデザインや2019年に福岡市博物館にて397,595名という、史上空前の来場者記録を打ち立てた「ジブリの大博覧会」で、「王蟲の世界」を製作・監修した、日本を代表する造形家・竹谷隆之氏の監修による「風使いの腐海装束」と「巨神兵のジオラマ」を楽しむことができます。

本展は、九州で初開催の展覧会となります。
ここに開催のご案内を申し上げるとともに、是非とも皆さまに本展をご紹介しますよう、お願い申し上げます。

福岡展 開催概要

- 【展覧会タイトル】 **ア・メ・ジとジブリ展** 一冊の雑誌からジブリは始まった
- 【開催会期】 2022年 4月 8日(金)～ 7月10日(日) 計:81日間
※水曜は休館日(ただし、5月4日(水・祝)は開館。5月6日(金)は休館。)
- 【開催時間】 午前9時30分～午後6時(金曜・土曜日は午後8時まで)
※ただし、最終入場は30分前まで。
- 【開催会場】 福岡アジア美術館 7階:企画ギャラリーA・B・C (福岡市博多区下川端町3-1 リバレインセンタービル7・8階)
- 【入場料金】 一般:(土日祝) 1,500円, (平日) 1,300円
中高生:(土日祝) 1,000円, (平日) 800円
小学生:(土日祝) 800円, (平日) 600円
※「中高生」料金で入場の際、学生証や生徒手帳等のご提示が必要となります。
※身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳の提示者本人とその介護者1名、特定疾患医療受給者証、特定医療費(指定難病)受給者証、先天性血液凝固因子障害等医療受給者証、小児慢性特定疾病医療受給者証の提示者ご本人のみ、および未就学児は観覧無料
- 【主催】 FBS福岡放送、西日本新聞社、西日本新聞イベントサービス
- 【企画制作】 ニュートラルコーポレーション
- 【企画協力】 スタジオジブリ・三鷹の森ジブリ美術館
- 【協力】 徳間書店、マクセル、特定非営利活動法人アニメ特撮アーカイブ機構、福岡アジア美術館
- 【協賛】 未定
- 【後援】 福岡県、福岡県教育委員会、福岡市、福岡市教育委員会、(公財)福岡市文化芸術振興財団、KKT熊本県民テレビ、NIB長崎国際テレビ、KYT鹿児島読売テレビ、KRY山口放送



※上記写真は、すべて東京会場



© 1984 Studio Ghibli・H

チケット料金・券種

[一般]	土日祝	1,500円
	平日	1,300円
[中高生]	土日祝	1,000円
	平日	800円
[小学生]	土日祝	800円
	平日	600円

※「中高生」料金で入場の際、学生証や生徒手帳等のご提示が必要となります。

※身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳の提示者本人とその介護者1名、特定疾患医療受給者証、特定医療費(指定難病)受給者証、先天性血液凝固因子障害等医療受給者証、小児慢性特定疾病医療受給者証の提示者ご本人のみ、および未就学児は観覧無料。

各種PG情報・発売情報

【一般チケット発売開始日】

2022年 3月6日(日) 10:00～

【各主要プレイガイド情報】

- ・ローソンチケット [Lコード: 84362]
- ・チケットぴあ [Pコード: 685-925]
- ・e+(イープラス) [eplus.jp]
- ・セブンチケット [7ticket.jp]

【チケットに関するお問い合わせ】

西日本新聞イベントサービス

TEL: 092-711-5491 (平日) 9:30～17:30迄

企画チケットに関して

『早割ペアチケット』発売情報(「ローソンチケット」独占発売)

【チケット料金】

- ペアチケット 2枚綴り: 2,000円(1人で2回でも利用可能)
- ・2,000枚 限定発売 ※無くなり次第、発売終了
- ・[Lコード: 84362] ※一般チケット同様

【チケット発売期間】

2022年 1月21日(金) 10:00 ～ 3月5日(土) 23:59迄

【チケット利用可能期間】

2022年 4月8日(金) ～ 7月10日(日)迄の開催日のみ
※「土日・祝祭日」、「平日」のいずれも利用可能

アニメージュとは・・・

日本初！
アニメ雑誌のパイオニア

1978年5月26日に創刊した日本初の本格的商業アニメ雑誌・月刊「アニメージュ」(徳間書店)。アニメ雑誌のパイオニアとして、それまで作品の裏方として決して脚光を浴びることのなかった業界内部、作家や制作に関わる人々をクローズアップし、場面写真や制作の舞台裏をみることができるインタビュー記事を掲載するなどファンからのニーズに応えてきました。「風の谷のナウシカ」のアニメーション映画化でスタジオジブリ設立のきっかけとなった本誌は、2022年に創刊44周年を迎える今もアニメとファンをつなぐ橋渡し役です。



鈴木敏夫に関して

編集者でありながら、
スタジオジブリ誕生への道筋をつくった鈴木敏夫

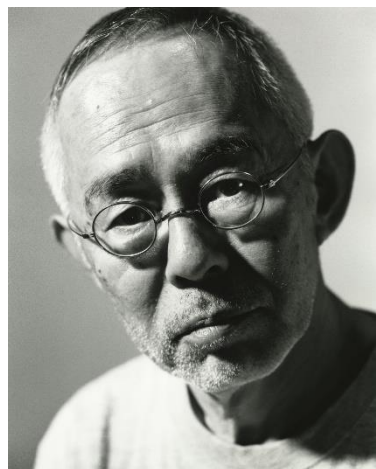
【鈴木敏夫 氏 (すずき としお) プロフィール】

1948年、名古屋市生まれ。慶応義塾大学文学部卒業後、株式会社徳間書店入社。

『週刊アサヒ芸能』を経て、『アニメージュ』の創刊に参加。

副編集長、編集長を務めるかたわら、「風の谷のナウシカ」、「火垂るの墓」「となりのトトロ」などの高畑勲・宮崎駿作品の製作に関わる。

1985年にスタジオジブリの設立に参加、1989年からスタジオジブリ専従。以後ほぼすべての劇場作品のプロデュース。現在、株式会社スタジオジブリ代表取締役プロデューサー。



撮影：荒木経惟

一冊の雑誌からジブリは始まった

1974年に「宇宙戦艦ヤマト」が放送されて以降、アニメの盛り上がりの中で「アニメージュ」は、ファンと作り手の架け橋となる日本初の商業アニメ専門誌として生まれました。本展覧会は雑誌「アニメージュ」の1978年創刊当時から80年代に焦点を当てました。まだアニメという言葉さえ広がっていない時代から、1979年に登場した「機動戦士ガンダム」の大ヒットによりアニメが大きく飛躍するブーム期。そして、鈴木敏夫が後のジブリにつながる高畑勲・宮崎駿両監督を見出し、「風の谷のナウシカ」「天空の城ラピュタ」の映画製作に傾倒するまでの道のりを紹介します。「風の谷のナウシカ」のセル画や押井守監督作品「天使のたまご」の貴重な資料、初期ガンプラによる「機動戦士ガンダム」の名シーンを立体で表現したジオラマなど200点以上を展示します。

第 I 章 アニメージュ誕生！

「テレビまんが」からアニメブームへ

1970年代後半のアニメブームの勃興期を、当時のアニメ映画ポスター、アニメグッズ、セル画コレクションなどの展示から振り返ります。「テレビまんが」としてひとくりにされ、「アニメ」という言葉すら定かでなかった時代に、自分たちの手で同人誌を作り、ファン同士で交流を深め、そして時にはアニメスタジオを訪問し作り手と交流さえしていた若者たちがいました。そういう時代背景と、彼らの熱気があって、日本初の商業アニメ専門誌「アニメージュ」が生まれました。

本エリアでは、「アニメージュ」に先行して存在していたアニメ関連出版物も広く展示することで、「アニメージュ」の他にない独自性を示します。



※上記写真は、すべて東京会場

第 II 章 アニメージュは私たちにすべてを教えてくれた！

ガンダムが変えた歴史

1979年4月から放送が開始されたテレビアニメ「機動戦士ガンダム」に「アニメージュ」は注目し、雑誌をあげて全面的に応援しました。「ガンダム」を作っているのはどんな人たちなのか、富野喜幸(由悠季)監督をはじめ、美術・デザインに関わる人々や作品に命を吹き込む声優の人々を繰り返し特集で取り上げました。読者は、初めてアニメを誰がどのように作っているのかを知り、作品と同じように「作家」たちにも熱い視線を送るようになったのです。

本エリアでは、「アニメージュ」がガンダムブームをどう伝え、ファンがどう受け止めたのかを誌面の再現や当時の制作資料で振り返ります。また、ガンダムブームのもうひとつの表れである「ガンプラ(ガンダムのプラモデル)」に注目し、初期ガンプラによる「機動戦士ガンダム」の名シーンを立体で表現したジオラマも展示します。



©創通・サンライズ



公開時の映画ポスター「機動戦士ガンダム」



※上記写真は、東京会場

第III章 加速するアニメブーム

拡大するアニメージュ

ガンダムによって加速したアニメブームは、若い作り手が参加した作品が増えるなど、さらなる発展を続けます。「アニメージュ」にも、鈴木敏夫の方針でファンと同世代のアルバイトスタッフが大量に投入され活気づきます。また「アニメージュ」の活動は範囲を広げ、ファンとの大規模な交流イベントやラジオ番組、レコードやビデオが生まれ、出版物も文庫本やムック本などが続々と発刊されます。雑誌の枠を超えた拡大は、いずれ自身が主導するアニメ作品制作へとつながっていくのです。

本エリアでは、鈴木敏夫の志向性が色濃く出た「表紙」と「付録」のギャラリーをお楽しみいただけます。特に、付録は「情報誌」には珍しく、市販品よりも凝ったグッズや冊子、ポスターなどが毎月ついていました。かつてのファンにはたまらなく懐かしい、貴重な付録や広告物を展示します。



第IV章 ナウシカへの道

一冊の雑誌から映画が誕生

鈴木敏夫は、「アニメージュ」の編集を通じて、二人の作家と出会いました。高畑勲と宮崎駿、アニメージュの創刊号で特集した日本のアニメーション史に残る名作「太陽の王子 ホルスの大冒険」を中心に生み出した二人です。鈴木敏夫は、ガンダムや宇宙戦艦ヤマトなどの松本零士アニメが大人気だった81年8月号に宮崎駿監督の31ページにもわたる大特集を掲載したのを契機に、一気に高畑勲・宮崎駿らに寄りそう路線をとることを宣言したのです。

本エリアでは、82年2月号の原作マンガ連載開始を経て、84年に映画「風の谷のナウシカ」が誕生するまでの道のりを振り返ります。さらに、今まで紹介されることの少なかった、貴重なレイアウトや原画、美術ボードなどの資料をその描き手が「アニメージュ」でどう紹介されてきたか、という視点から多数展示します。中でも、また、「アニメージュ」という雑誌から映像制作が始まったという表れとして、徳間書店制作の他の映像作品をまとめて紹介。鈴木が力を入れた押井守監督作品「天使のたまご」の貴重な資料展示や、今回初公開となる「風の谷のナウシカ」のセル画にも注目です。



※上記写真は、すべて東京会場



© 1984 Studio Ghibli・H



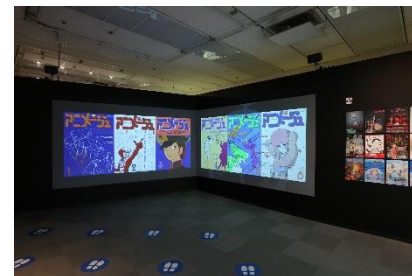
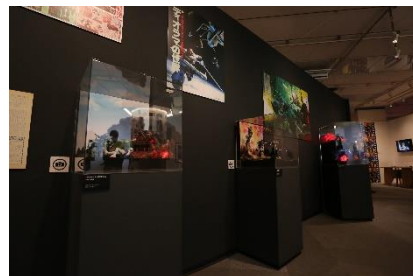
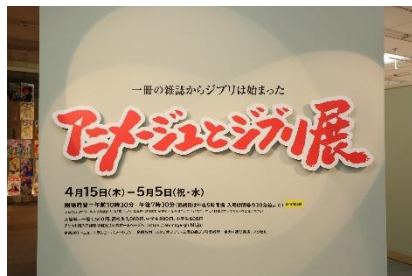
二次配給時の映画ポスター
「風の谷のナウシカ」
© 1984 Studio Ghibli・H



※上記写真は、すべて東京会場



「風の谷のナウシカ」セル画と色指定
© 1984 Studio Ghibli・H



ココが凄いよ！アニメジブリ展

～ 本展の見どころ・2本柱 ～

Point ① 「初公開」の貴重な資料やセル画。立体造作を含む、約200点以上で構成

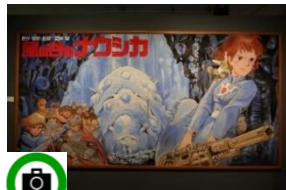
本展で初公開となる「風の谷のナウシカ」のセル画の数々や企画書を展示。さらに今回は、映画「シン・ゴジラ」のキャラクターデザインを手掛け、「ジブリの大博覧会」では「王蟲の世界」を製作・監修した日本を代表する造形作家・竹谷隆之氏による初の試み、「風使いの腐海装束」、「巨神兵のジオラマ」を完全再現した造形物も登場します。また、秋田県大館市にある映画館「御成座」で2020年にリバイバル上映された際に新たに描かれた劇場用の巨大看板(復刻版)も必見！さらには、「天空の城ラピュタ」公開より前に宮崎駿氏が描き、実際に模型が制作されていた飛行船「ワンダー・シップ号」。今回、その模型造作が発見され、特別公開されます。その他にも、富野由悠季監督作品「機動戦士ガンダム」のガンプラ造作の数々。押井守監督の幻の作品とも言われる、「天使のたまご」の貴重な資料など、立体造作物を含む、およそ200点以上を惜しみなく展示。会場内には、写真撮影可能なエリアも多数存在する、大注目の展覧会となります。



「風の谷のナウシカ」
企画書・宣伝物など



「風の谷のナウシカ」
セル画の数々



「風の谷のナウシカ」
秋田県大館市にある映画館
「御成座」の劇場用・巨大看板(復刻版)



「風の谷のナウシカ」
風使いの腐海装束の再現造作



「風の谷のナウシカ」
巨神兵のジオラマ



天空の城ラピュタジオラマと
ワンダー・シップ号模型

Point ② 本展で初登場！ココでしか買えない！！超レアなオリジナルグッズが多数

これまで、「風の谷のナウシカ」のグッズは、殆ど制作されて来ませんでした。しかしながら、本展では、スタジオジブリや「風の谷のナウシカ」という作品が、「アニメージュ」という雑誌から誕生した・・・という歴史に迫る展覧会でもあり、本展実施に伴い、特別なオリジナルグッズとして数多く制作されました。その他、当時の「アニメージュ」の付録の復刻版など、本展でしか購入することのできないファン必見のアイテムも多数登場！また、会場内における新型コロナウイルス感染症における混雑(密)を防ぐ施策として、QRコードを利用したオンライン販売も展開します。 ※下記アイテムは、一部の商品です※



ぬいぐるみ(左・テト: 11,000円(税込), 右・王蟲: 14,300円(税込))
アニメージュの表紙や誌面に登場するキャラクターを模した
日本製ぬいぐるみ。限定BOX入り



ゴブラン織りタペストリー: 16,500円(税込)
「風の谷のナウシカ」のオープニングデザインの
ゴブラン織りタペストリー
(サイズ(約)W:136cm×H:82cm)



スクエア缶バッジ: 各440円(税込)
アニメージュの表紙をそのままスクエア型の缶バッジに



【トランプ・クリアファイルセット(全3種): 各1,100円(税込)】
「アニメージュ」1984年4月号の付録のトランプの復刻と、
風の谷のナウシカの表紙デザインのクリアファイルのセット

初の試み！風の谷のナウシカ「風使いの腐海装束」を完全再現！

映画『シン・ゴジラ』など数々の作品でキャラクターデザインや造形監修を務める造形作家・竹谷隆之氏が監修した『風の谷のナウシカ』に登場する「風使いの腐海装束」が初めて公開・展示されます。「風使いの腐海装束」を等身大で制作することは初の試みです。装束の他に、長銃や蟲笛、瘴気のマスクなども展示されます。

造形家・竹谷隆之氏が監修した「風使いの腐海装束」の展示



竹谷隆之氏（たけや たかゆき）

造形作家。1963年生まれ。北海道出身。阿佐谷美術専門学校卒業。映像、展示、ゲーム、玩具関連でキャラクターデザイン、アレンジ、造形を手がける。『巨神兵東京に現る』で巨神兵の雛形制作、映画『シン・ゴジラ』ではキャラクターデザイン、『ジブリの大博覧会・王蟲の世界』の雛形制作・造形監修。タケヤ式自在置物シリーズでは「ヘビケラ」、「王蟲」、「大王ヤンマ」、「トルメキア装甲兵」などの企画・デザインアレンジを担当。主な出版物/『漁師の角度・完全増補改訂版』（講談社）、『ROIDMUDE竹谷隆之 仮面ライダードライブデザインワークス』（ホビージャパン社）、『畏怖の造形』（玄光社）など。



「風使いの腐海装束」スケッチ



装束



装束制作の様子

アンバサダー&音声ガイド・ナビゲーターはナウシカ役声優・島本須美さん

本展アンバサダー&音声ガイドナビゲーターは、『風の谷のナウシカ』で主人公ナウシカ役を務めた声優・島本須美氏。本展覧会の監修をつとめた三鷹の森ジブリ美術館シニアアドバイザーであり、当時アニメージュ編集部の高橋望さんと展示のみどころや当時のアニメにまつわるエピソード、ウラ話のほか、ナウシカや『ルパン三世カリオストロの城』のクラリスの名ゼリフも収録しています。

ココでしか聴けない！ 往年のアニメファン感涙のエピソードとウラ話




島本須美氏（しまもと すみ）

声優、ナレーター。映画『風の谷のナウシカ』の主人公ナウシカ役のほか、アニメや洋画の吹き替えなど多くの作品でヒロイン役や清純な少女の声を担当。特に宮崎駿氏関連の作品には多く出演しており、『ルパン三世カリオストロの城』でのクラリス役、『となりのトトロ』の姉妹サツキとメイの母親役、『もののけ姫』のトキ役などで活躍。他にも、『めぞん一刻』（音無響子役）、『それいけ!アンパンマン』（しょくぱんまん役）、『名探偵コナン』、『らき☆すた』など、幅広い作品に出演している。






No.	資料画像	タイトル	クレジットなど必要表記事項	提供データ形式
1		メインビジュアル	©1984 Studio Ghibli・H	JPEG
2		本展ロゴ（横組み）		JPEG
3		アニメージュ表紙（実物）		JPEG
4		アニメージュ表紙 （ナウシカ 1984年4月号）	©1984 Studio Ghibli・H	JPEG
5		アニメージュ表紙 （ナウシカ 1984年2月号）	©1984 Studio Ghibli・H	JPEG

No.	資料画像	タイトル	クレジットなど必要表記事項	提供データ形式
6		アニメージュ表紙 (ナウシカ 1983年11月号)	©1984 Studio Ghibli・H	JPEG
7		アニメージュ表紙 (ナウシカ 1982年7月号)	©1984 Studio Ghibli・H	JPEG
8		アニメージュ表紙 (ナウシカ 1986年12月号)	©1984 Studio Ghibli・H	JPEG
9		アニメージュ表紙 (ラピュタ 1986年7月号)	©1986 Studio Ghibli	JPEG
10		アニメージュ表紙 (ラピュタ 1985年12月号)	©1986 Studio Ghibli	JPEG

No.	資料画像	タイトル	クレジットなど必要表記事項	提供データ形式
11		アニメージュ表紙 (トロ 1987年6月号)	©1988 Studio Ghibli	JPEG
12		アニメージュ表紙 (魔法の宅急便 1988年12月号)	©1989 角野栄子・Studio Ghibli・N	JPEG
13		アニメージュ表紙 (ガンダム① 1980年3月号)	©創通・サンライズ	JPEG
14		アニメージュ表紙 (ガンダム② 1981年4月号)	©創通・サンライズ	JPEG
15		アニメージュ表紙 (未来少年コナン 1979年10月号)	©NIPPON ANIMATION CO.,TLD.	JPEG

No.	資料画像	タイトル	クレジットなど必要表記事項	提供データ形式
16		島本須美 氏 宣材写真		JPEG
17		鈴木敏夫 氏 宣材写真	撮影：荒木経惟	JPEG
18		「風の谷のナウシカ」 セル画	©1984 Studio Ghibli・H	JPEG
19		「風の谷のナウシカ」 セル画と色指定	「風の谷のナウシカ」セル画と色指定 ©1984 Studio Ghibli・H	JPEG
20		「風の谷のナウシカ」 二次配給時の映画ポスター	「風の谷のナウシカ」二次配給時の映画ポスター ©1984 Studio Ghibli・H	JPEG

No.	資料画像	タイトル	クレジットなど必要表記事項	提供データ形式
21		アニメージュ表紙（実物）		JPEG
22		当時の付録写真		JPEG
23		当時の車内中吊り広告		JPEG
24		東京会場 写真①	「※写真は東京会場です。」の表記	JPEG
25		東京会場 写真②	「※写真は東京会場です。」の表記	JPEG

No.	資料画像	タイトル	クレジットなど必要表記事項	提供データ形式
26		東京会場 写真③	「※写真は東京会場です。」の表記	JPEG
27		東京会場 写真④	「※写真は東京会場です。」の表記	JPEG
28		東京会場 写真⑤	「※写真は東京会場です。」の表記	JPEG
29		東京会場 写真⑥	「※写真は東京会場です。」の表記	JPEG
30		東京会場 写真⑦	「※写真は東京会場です。」の表記	JPEG

素材貸出時の注意事項

【画像素材借用の際には、以下の事項を必ずお守りください】

- 本画像の使用は本展を紹介する場合に限ります
- 「「展覧会名」、「会場名」、「会期」、「画像クレジット」などの基本情報に関しては、必ずご記載ください
- 使用画像と基本情報の確認のため、掲載前の原稿(または公開前のテストページ)や映像は下記、担当までお送りください。
確認・監修後、お戻いたします。
※その場合、メールやご郵送など、どちらでも対応致します
※尚、監修期間に関しては、1週間程度頂戴します
- WEBサイトの場合は、「無断転載のお断り」を必ず記載の上、72dpi 以下、400 × 400pixel 以下の解像度にし、必ず画像のコピーガードを行ってください
※仮に、再放送や転載など、二次使用される場合には、別途ご相談・申請してください (ただし、展覧会終了後の二次使用は不可)
- 基本情報、画像使用などの確認のため、ゲラ刷り・原稿段階のものを「広報事務局」にお送りください。
- 掲載・放送後は、必ず掲載紙(誌)、同録DVD を下記「広報事務局」までお送りください。
- 画像の「トリミング」・「文字乗せ」に関しては不可です。(それぞれ、ビジュアルをハッキリと見せること) ※主催者の監修が必要です
- 画像データは、「jpeg」もしくは、「pdf」データでのご提供となりますので、必ずメールアドレスをご記載下さい。
- 当実行委員会より、ご提供した画像はご使用後すみやかに廃棄してください
- 新聞・雑誌などにご掲載いただく際は、掲載紙・誌を各2部、WEBの場合は、掲載いただいたURLのご連絡をお願いします。

アニメージュとジブリ展 福岡展実行委員会 (FBS福岡放送 事業部内)

〒810-8655 福岡市中央区清川2-22-8

TEL: 092-532-1111(代) / FAX: 092-532-3086

【担当】 平田: m_hirata@fbs.co.jp 今村: m_imamura@fbs.co.jp



一冊の雑誌からジブリは始まった 福岡展実行委員会 宛

【FAX】:092-532-3086

【e-mail】【担当】 平田：m_hirata@fbs.co.jp 今村：m_jimamura@fbs.co.jp

プロモーション用 画像借用申請書

※ご希望の画像のチェック欄にチェックを入れ、その他必要事項をご記入の上、ご提出下さい
(記入漏れなどある場合は、お貸し出しできない場合がございます)

チェック欄		タイトル	
借用希望No.	タイトル	チェック欄	借用希望No.
<input type="checkbox"/>	1	メインビジュアル	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	2	本展ロ口(横組み)	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	3	アニメージュ表紙(実物)	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	4	アニメージュ表紙(ナウシカ 1984年4月号)	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	5	アニメージュ表紙(ナウシカ 1984年2月号)	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	6	アニメージュ表紙(ナウシカ 1983年11月号)	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	7	アニメージュ表紙(ナウシカ 1982年7月号)	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	8	アニメージュ表紙(ナウシカ 1986年12月号)	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	9	アニメージュ表紙(ラピュタ 1986年7月号)	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	10	アニメージュ表紙(ラピュタ 1985年12月号)	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	11	アニメージュ表紙(トトロ 1987年6月号)	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	12	アニメージュ表紙(魔女の宅急便 1988年12月号)	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	13	アニメージュ表紙(カシタム① 1980年3月号)	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	14	アニメージュ表紙(カシタム② 1981年4月号)	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	15	アニメージュ表紙(未来少年コナン 1979年10月号)	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	16	島本須美氏 宣材写真	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	17	鈴木敏夫氏 宣材写真	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	18	「風の谷のナウシカ」セル画	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	19	「風の谷のナウシカ」セル画と色指定	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	20	「風の谷のナウシカ」二次配給時の映画ポスター	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	21	アニメージュ表紙(実物)	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	22	当時の村録写真	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	23	当時の車内中吊り広告	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	24	東京会場 写真①	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	25	東京会場 写真②	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	26	東京会場 写真③	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	27	東京会場 写真④	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	28	東京会場 写真⑤	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	29	東京会場 写真⑥	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	30	東京会場 写真⑦	<input type="checkbox"/>

媒体ジャンル	<input type="checkbox"/> テレビ <input type="checkbox"/> 新聞 <input type="checkbox"/> 雑誌 <input type="checkbox"/> WEB <input type="checkbox"/> その他()
媒体社名 (掲載コーナー特集名)	()号
掲載・露出予定日	WEB:URL()
貴社名	年 月 日
ご担当者名	
住所	〒
TEL/FAX	TEL/ FAX
E-mail	